

2019年度「障害学生支援専門テーマ別セミナー」



生活介助を必要とする
学生における高等教育
への移行支援からみた
高大連携のあり方



▶ 話題提供 1

自立を目指した大学進学への移行準備
(特別支援学校)



兵庫県立和田山特別支援学校 主幹教諭 柳本 真一

関西学院大学総合政策学部3年

西井 拓海

(平成28年度和田山特別支援学校卒業)

▶話題提供 1 自立を目指した大学進学への移行準備（特別支援学校）

◆はじめに

<西井さんの願い>

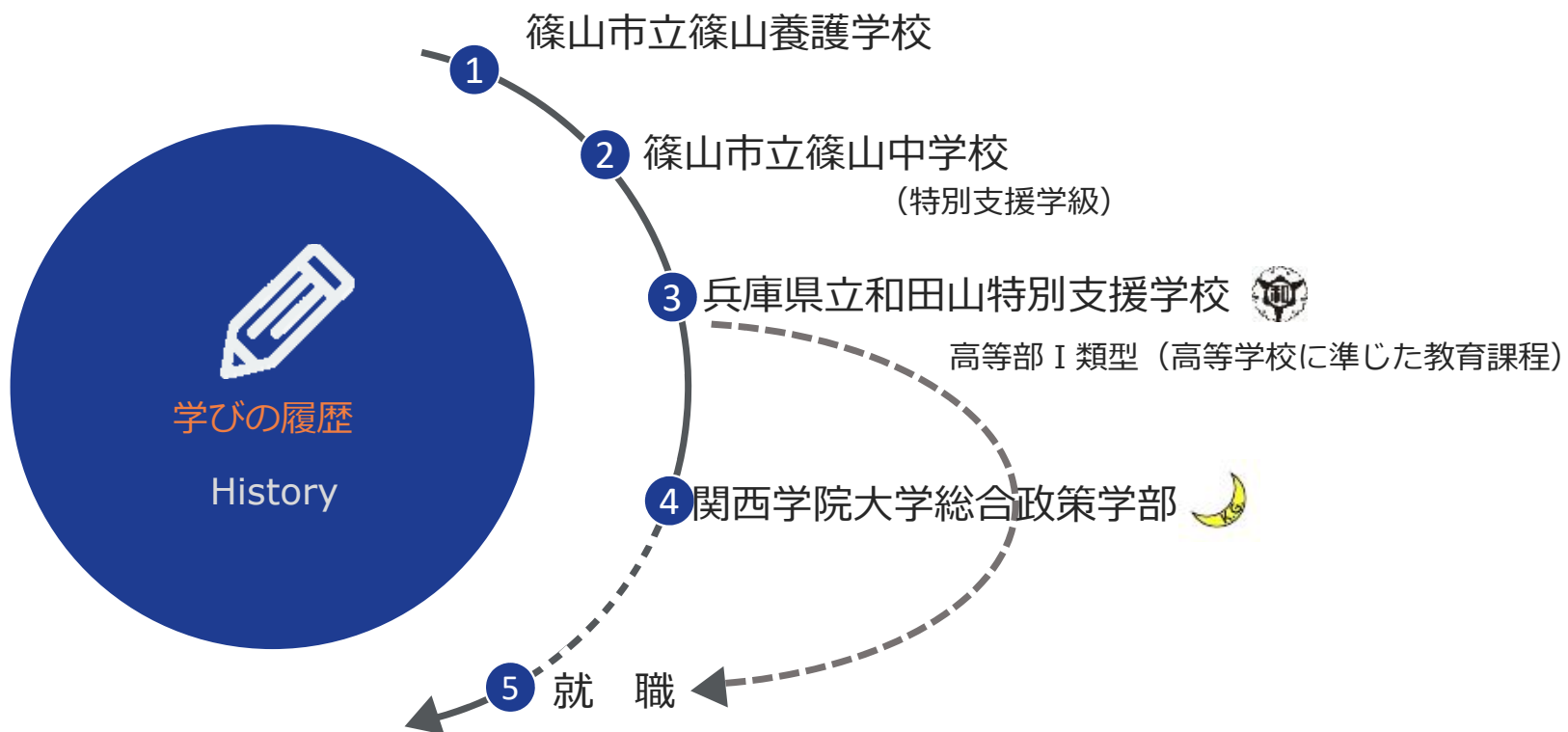
- ・「障害学生により多様な進路を」

<柳本の願い>

- ・障害のある高校生が希望をもって進学できることの一助に
- ・SDGs（Sustainable Development Goals・持続可能な開発目標）
誰一人取り残さない“世界”の実現への一歩



▶話題提供 1 自立を目指した大学進学への移行準備（特別支援学校）



▶話題提供 1 自立を目指した大学進学への移行準備（特別支援学校）

◆高等部3年間の取組の概要

- 1 年生
- ・ 模擬試験
 - ・ 大学と担任による面談
 - ・ オープンキャンパスへの参加

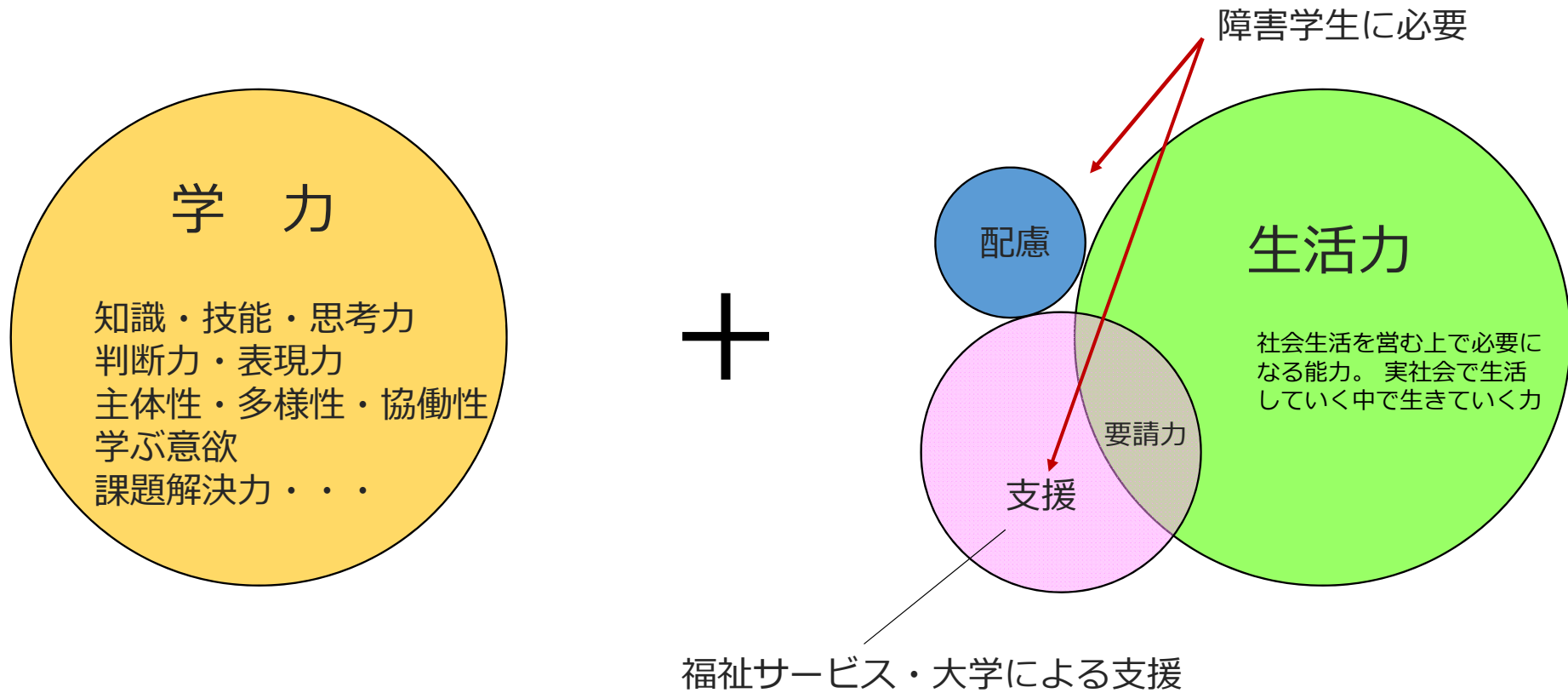
基礎学力の向上・自立活動等

- 2 年生
- ・ 地元の高校と交流

- 3 年生
- ・ 課題分析（学力面・生活面・必要な支援）
模擬試験
 - ・ 大学についての具体的な情報収集（インターネット、電話、訪問）
 - ・ オープンキャンパス
 - ・ 志望大学との入試に係る打ち合わせ（合理的配慮、入学後にできる支援等の情報収集）
 - ・ 大学受験
 - ・ 卒業後に向けての支援体制の構築（大学・福祉）
 - ・ 授業体験
 - ・ 本人の生活力の向上（支援要請スキル、通学、電話、買い物等）

▶話題提供 1 自立を目指した大学進学への移行準備（特別支援学校）

◆大学入学に必要な力



▶話題提供 1 自立を目指した大学進学への移行準備（特別支援学校）

◆高等部3年生の4月当時の3つの課題（1）

1 マイノリティが故の情報の少なさ

- ・大学のバリアフリー対応状況
- ・大学による合理的配慮の対応状況
- ・個別指導なので学力的に見た本人の力（大学に合格できる力があるか）

2 生活経験の不足

- ・支援要請スキルの弱さ（特に初対面の人に対して）
- ・電話の活用
- ・買い物スキル
- ・公共交通機関の利用等

▶話題提供1 自立を目指した大学進学への移行準備（特別支援学校）

◆高等部3年生の4月当時の3つの課題（2）

3 障害学生だから生まれる不利な条件 →これこそが「障害」

- 早く（年内ぐらい）進路先（大学）に合格しないと福祉サービスとつなげない。

→AO入試や推薦入試で合格する必要がある。

通学方法等の検討や進学後の支援体制の確立にも時間が必要

- ・一般入試まで引っ張ることになったときに大学も福祉も支援体制が構築できたか・・・。

- 福祉制度が十分に整っていない。

- ・サービスの有無、制度が整っていない、市からお金が出るのか、介助ができる事業所の有無
支援が整わなかったら合格・不合格に関わらず「生活介護」・・・

- 大学選択の幅の狭さ

- ・住んでいるところによっては進学をあきらめざるを得ない。
- ・一人暮らしが選択肢に入りにくい →生活支援をどうするか、相談先は？
- ・国公立大学も選択肢に入れにくい。

▶話題提供 1 自立を目指した大学進学への移行準備（特別支援学校）

◆大学選択時における課題

＜別紙資料＞ 受験を検討した大学

① 自宅から通学が可能であること

- ・片道最大1時間30分まで
- ・公共交通機関（電車・バス）がバリアフリー対応か。



学びたいこと、学力との乖離

② 大学がバリアフリー対応であること

- ・キャンパス内を電動車いすで移動可能か。
- ・「学びの場」である教室に入れるか。
- ・多目的トイレがあるか。

③ 大学に支援体制があること

- ・授業にノートテイクやキャンパスライフを送るのに必要な相談できる場所があるか。
- ・障害学生に対して寛容で合理的配慮等への理解があるか。

▶話題提供 1 自立を目指した大学進学への移行準備（特別支援学校）

◆大学入学に向けて取り組んだこと

<学習面>

- 入試対策 毎日英語の長文を読む
- 小論文対策 新聞等の要約

最優秀賞（高校生の部）

障害者差別解消に関する政策
プレゼンテーション・コンテスト

優秀賞（高校生の部）

参議院70周年
記念論文

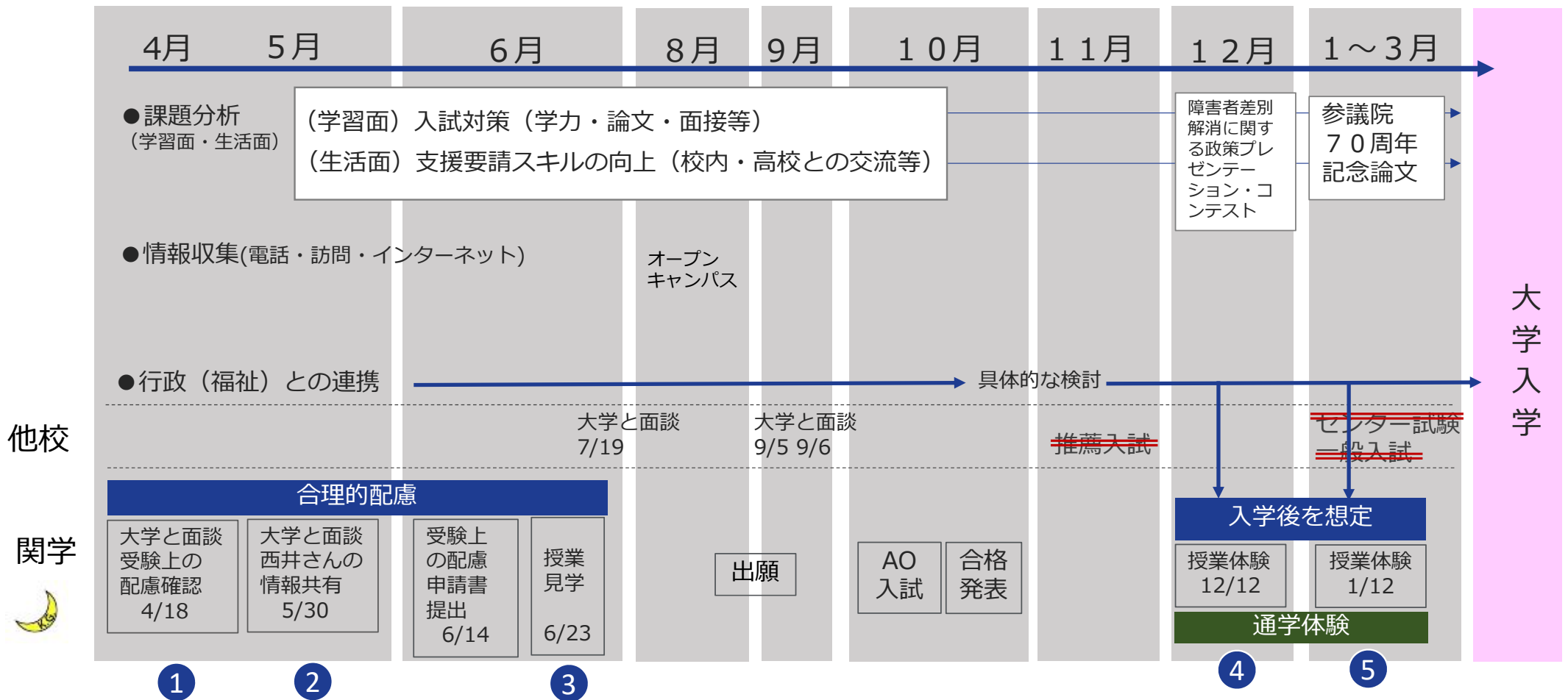
<生活面>

- 障害と向き合う（自己の対話）
自分自身の生き辛さ（困難さ）、強みを整理する

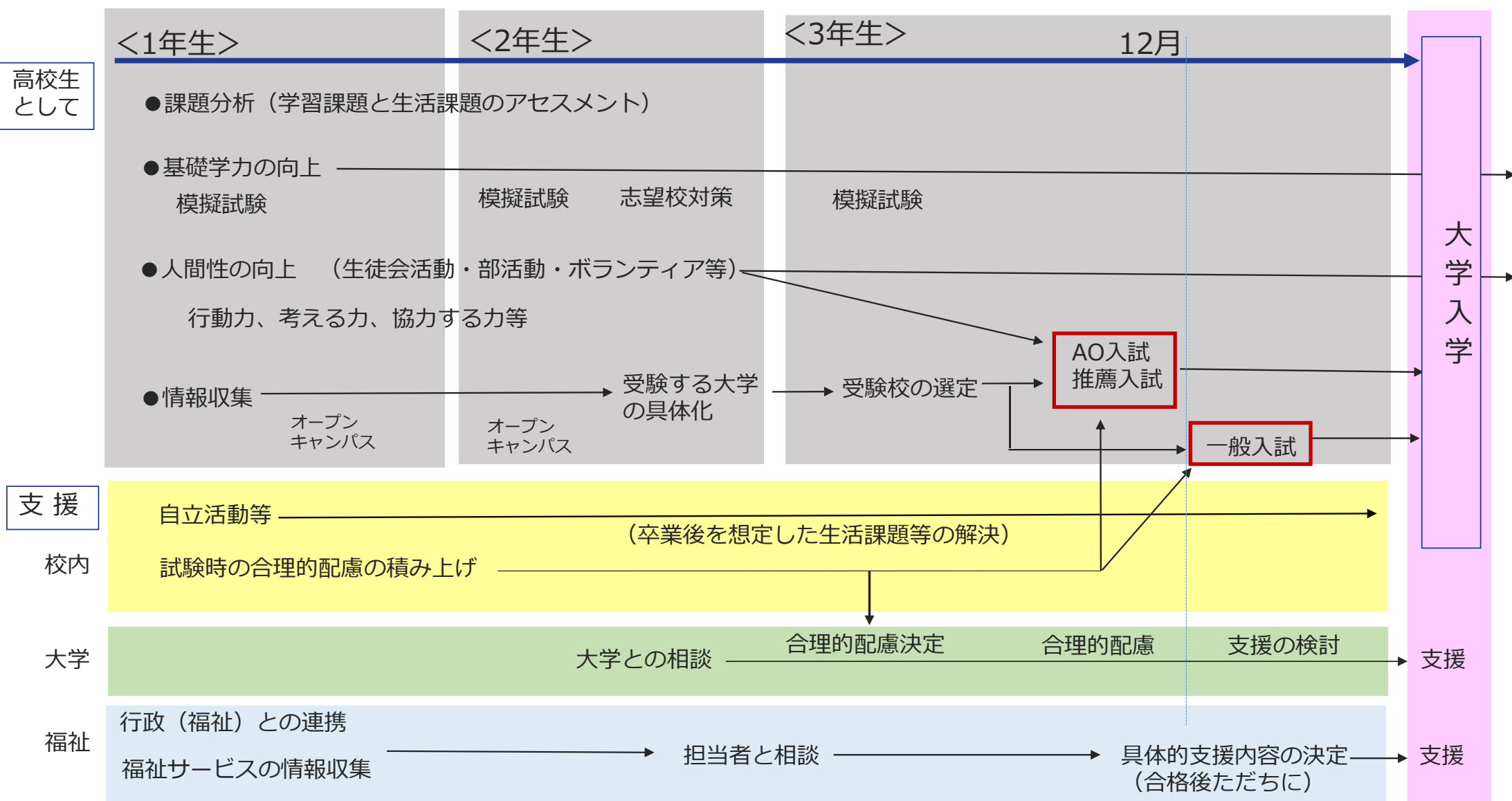
- 支援要請スキルの向上・・・面識のない人にでも支援を頼めるように
 - ・同学年の友達の協力（食事介助、移動等）
 - ・交流および共同学習（地元の高等学校）
 - ・電話・・・通学時などに困ったことがあれば電話で支援を要請できるように
 - ・公共交通機関の利用 駅やバス停での支援の依頼、電話等で自分で依頼
 - ・買い物・・・経験不足
店員への依頼が難しい。

▶ 話題提供 1 自立を目指した大学進学への移行準備（特別支援学校）

◆ 和田山特別支援学校が取り組んだ進路実現（大学入学）へのロードマップ



◆理想的な進路実現（大学入学）へのロードマップ



▶話題提供 1 自立を目指した大学進学への移行準備（特別支援学校）

◆高校（高等部）在学中にしておくべきこと

- 「一人の高校生として」学力をつける。
- 「何のために」大学へ進学したいのか。
- 「障害」と向き合う。
必要な支援の明確化 自分自身の困難な状況を把握し適切に支援を受ける。
- 早期から情報を集めておくこと
 - ・大学のサポート体制について、行政の福祉サービスの状況、大学へのアクセス方法など
- つながる（できるだけ早期に）
 - ・大学と 入試前面談
 - ・行政や福祉と



「自立とは依存先を増やすこと」